

この作文に、心を打たれた先生や友だちは、みんなでお金を出し合い、清作のかたまった左手の手術をするようにすすめました。

若松の渡部医師わたなべいしの手術を受けて、指が動くようになった清作は、

「指が動く、どの指も動く、物がつかめる、ぼくはもう『てんぼう』ではないんだ」

と、さげびました。

三城瀉さんじょうがたの生家せいかと清作

野口清作（英世）は、明治九年（一八七六年）十一月九日、耶麻郡翁島村（現猪苗代町）大字三ツ和字三城瀉さんじょうがたの野口佐与助さよすけの長男として生まれました。

清作の生まれた野口家は、もとは田畑たはたも多く、わりと豊かな農家でしたが、